

第40回北海道 第44回札幌

2024年

# 学童保育研究集会

(北海道放課後児童支援員資質向上研修)

未来に輝け、学童保育！！

～子どもの笑顔のためにみんなで学び語ろう！！～

働くお父さん・お母さんを応援する学童保育は、子どもたちの放課後の生活を守り、地域の中でも重要な役割を担っています。学童保育の現状や課題をとらえ、親が安心して働き続けられ、子どもたちの成長が保障される学童保育の在り方を学び合い交流しましょう。

この研修は「『放課後児童健全育成事業』の実施について」(令和6年4月1日付け こ成環第117号 ことま家庭庁成育局長通知) 別添 12「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」3②における、都道府県が実施する研修に該当します。

日 程 : 2024年12月1日(日) 10:30~17:00

会 場 : 北海学園大学 (札幌市豊平区旭町4丁目1-40)

申込締切 : 11月1日(金)

参加費 : 3,000円(一般) 2,000円(北海道学童保育連絡協議会の会員)

10:00

10:30

11:00

12:35

13:30

16:20

17:00

受付	開会 集会	記念講演	休憩	分科会	閉会 集会
----	----------	------	----	-----	----------

記念講演《会場・Zoom》

## 子どもの声を聴いていますか？

～子どもにはどんな権利があるのか～



私たち大人は、子どもの声を聴いているでしょうか。子どもの言葉だけではない「声」をていねいに聴くことが、大人の側に求められています。「子どもの権利条約」の歴史的な経緯にも触れながら子どもの権利についてお話しします。

講師：浅井 幸子さん

(東京大学 大学院教育学研究科 教育学部 教授)

### 自己紹介

教育実践をさまざまなアプローチで研究しています。保育や学校現場での大人と子どもの関係について探求しています。子どもの権利条例を生かした実践も研究しています。子どもの意見表明権については、聴かれる子どもの権利であると同時に、耳を傾ける側の課題でもあると思っています。

主 催 北海道学童保育連絡協議会・札幌市学童保育連絡協議会・北海道

後 援 北海道教育委員会・札幌市・札幌市教育委員会

(予定あり)

社会福祉法人北海道社会福祉協議会・公益財団法人北海道青少年育成協会

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

## 分科会 13 : 30 ~ 16 : 20

### 第1分科会【学童保育の役割と大切にしたいこと（基礎編）】 《Zoomのみ》

講師 杉谷 美智子さん（愛知県 大和学童保育所ももたろうクラ 放課後児童支援員）

子どもたちの放課後生活を支え、より豊かにしていくために大切にしたいことはどのようなことでしょうか。講師の豊富な実践に触れながら、放課後児童支援員（学童保育指導員）の役割と大切にしたいことを学びましょう。

### 第2分科会【子どもをとらえる視点と働きかけ】 《会場のみ》

助言者 村越 含博さん（北海道文教大学 准教授）

レポート：竹村 義徳さん（札幌市 飛行船児童育成会 放課後児童支援員）

子どもたちと関わるときに、放課後児童支援員がどのような視点で、どう働きかけるのか。

「正しい答えとやりかた」と云えるものはないかもしれないけれど、「答えらしきもの」にいかに近づくかを謙虚に探求し続けることが放課後児童支援員なのではと感じています。

レポートで共に学び合い、参加者の皆さんの日々の実践からもグループ討議で視点と働きかけを深め合いたいと思います。

### 第3分科会 A【学童保育の生活とあそび】 《会場のみ》

講師：竹田 謙也 さん（札幌市 飛行船児童育成会 放課後児童支援員）

- ① 子どもたちの放課後であるクラブの生活をどの様に考え実践していくのか・・・。
  - ・毎日の生活づくり
  - ・週・月単位での生活づくり
  - ・長期休みにおける生活づくり
- ② あそびについての考え方と実践
  - ・継続したあそびの目的と取り組み・自由あそびの定義はあるのか否か？
  - ・行事はあそびの中に入るのか否か？
- ③ コマ・けん玉の実践講座
  - ・春の指導員学校で知り合った全道各地の仲間たちとの実践の交流もあります。

### 第3分科会 B【学童保育の生活とあそび】 《Zoomのみ》

レポート：川田 雅昭 さん（函館市・北美原第1たいようクラブ 放課後児童支援員）

北美原たいようクラブでは、放課後の生活の中で“遊び”を中心に生活しています。遊びの中で大切にしていること。そして、子どもたちの発想から生まれる工夫や遊びの発展とは。また、たいようクラブ独自で行っている行事の取り組みや大切にしていることとは。“支援員も全力で遊ぶ” レポートを基に深め合いましょう。

#### 第4分科会【障がいのある子や気になる子の学童保育】

《会場のみ》

講師 大山 祐太さん（北海道教育大学 准教授）

子ども一人ひとりの多様さを理解することは、子どもの最善の利益を保障するための第一歩です。子どもたちの発達要求を適切にとらえ、学童保育の生活づくりと子ども同士や放課後児童支援員（学童保育指導員）との関わりで大切にしたいことを学びましょう。

#### 第5分科会【高学年の子どもたちにとっての放課後生活と学童保育】《会場のみ》

助言者 星 徹 さん（札幌市・清田緑小学校 教諭）

レポート： 福井 玲さん（札幌市・しらかば台翼クラブ 放課後児童支援員）

さまざまな経験を通して、少しずつ自立へと向かって大きく成長していく高学年期の子どもたち。そんな子どもたちにとって放課後児童支援員（学童保育指導員）として、どのようなかかわり方が求められるか、レポート実践を基に学び合います。

#### 第6分科会【保護者と学童保育 「つながり」を考える】

《会場のみ》

助言者 河野 和枝 さん（名寄市立大学 非常勤講師）

レポート： 中村 勝之さん 吉江 昌彦さん（札幌市・ひろっぱクラブ児童育成会 保護者）

「学童保育とともに子育てを楽しんで！」「子どもの話を聴いて元気になろう！」学童保育は日常のかかわりを積み重ね紡いできた「子どもと保護者を支えるつながりの場」。コロナ禍で出来なかったことが出来るようになった昨今、楽しいことが増え、保護者と指導員の協働の子育ての関係も変化していると思います。レポートをもとにそれぞれの現場の実態を出し合い、交流し学び合しましょう。

#### 第7分科会【学童保育施策のこれからを考える】

《Zoomのみ》

講師 門田 弘之 さん（全国学童保育連絡協議会 副会長）

国は、「こども大綱」「こども未来戦略」「こどもの居場所づくりに関する指針」を策定し、子ども政策は大きく変わろうとしています。全国学童保育連絡協議会の実施状況調査から大規模化、途中退所の問題があることがわかりました。また、施設・設備、指導員の処遇、保育内容や指導のあり方、運営主体の変更や保護者や地域とのかかわりなどの課題もあります。現状と課題を確かめあい、学童保育をより良くしていくための運動の視点を学び合しましょう。

参加申し込みについて

参加費(1人あたり) 一般: 3,000円 / 北海道学童保育連絡協議会の会員: 2,000円

- 1. 申込はどちらかの方法で、重複しないようお願いいたします。
①下記のQRコード、または北海道学童保育連絡協議会(道連協)HPから、参加申込フォームに入力してください。
②道連協HPには複数人数を入力できるExcel申込ファイルがありますのでダウンロードし、必要事項を入力の上、下記のメールアドレスに添付送信してください。
2. 申込後は速やかに受講料をお振込み下さい。
3. 1台のパソコンで複数人が受講する場合でも、人数分の申し込みと入金が必要です。
4. キャンセルする場合は、11月13日までに道連協へご連絡ください。それを過ぎると返金できかねますことをご了承ください。
5. 事前に振込みができない事情がある場合はご連絡ください。
6. 事務局から11月22日頃までメールで参加票とZoomID等をお送りいたします。『討議資料』はWEBダウンロードと郵送を選択できます。メールアドレスを正確にご記入ください。※会場で受講する方には紙媒体の『討議資料』を配布いたします。もしも11月25日まで受講票が届かない場合は、ご連絡ください。
7. 請求書または領収書が必要な方は道連協へFAXまたはメールで連絡ください。

【当日 Zoom 参加での注意】放課後児童支援員資質向上研修の為、Zoomで受講する方は顔出しが前提になります。カメラになっていない場合参加を確認できない為、こちらから退室の操作をさせていただきます。

【申込先】北海道学童保育連絡協議会 (道連協)
〒060-0806 札幌市北区北6条西6丁目2-12 第1山崎ビル1F
TEL 090-5071-6208 FAX 011-756-2800
(申し込み専用アドレス) h.gakudouhoiku.kensyu@gmail.com

【振込先】

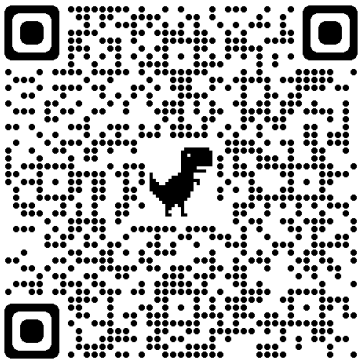
Table with 2 rows of bank information: ゆうちょ銀行 (記号) 19090 (番号) 28937781 (口座名義) 北海道学童保育研究集会実行委員会; 北洋銀行: 北二十四条支店 (普) 4150147 (口座名義) 北海道学童保育連絡協議会

★申込フォームはこちら ↓↓↓

https://forms.gle/j2f7tDfPAdheT3KY7

右のQRコードからフォームに入れます。

- ・メールアドレス ・お名前 フリガナ ・道連協会員の確認
・立場・経験年数・全道研の参加回数・市町村名
・所属クラブ名 (所属クラブがない場合は無と記入)
・希望分科会 ・緊急連絡先の電話番号 ・振込方法と予定日と振込名 ・資料の送付方法(郵送の場合、住所等の記入があります)



★複数人でまとめて申し込む場合は、道連協HPからエクセルファイルをダウンロードし、必要事項を記入して、h.gakudouhoiku.kensyu@gmail.com に添付メールをください。